

江戸川区 中小企業の景況

令和3年7月～令和3年9月期

調査対象 製造業 181社 小売業 81社
サービス業 65社 建設業 60社

調査方法 面接聴取法

調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会

分析作成 (株)サーベイリサーチセンター

本概要版は、令和3年9月上旬に調べた景気動向と、これから先の3か月間(令和3年10～12月期)をまとめたものです。なお、業績等についてはDI値を中心に分析しています。

※ D. I (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
	好調 ←			普通	→ 不調		
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

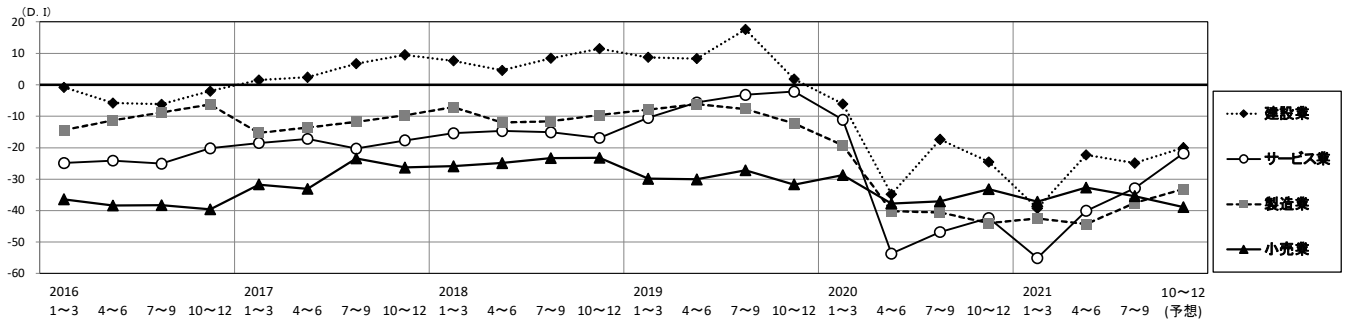
製造業	前期		-44.3	<p>業況DI(△44.3→△37.6)は前期比6.7ポイント増加し、厳しさがかなり和らぎました。売上額(△32.9→△30.7)と収益(△32.4→△27.7)はともに減少・減益傾向が若干改善しました。</p> <p>来期の業況(△33.1)は悪化傾向がやや弱まると見えています。売上額(△28.2)は減少傾向が若干改善されますが、収益(△26.6)は今期同様の減少・減益幅で推移すると予想しています。</p>
	今期		-37.6	
	来期		-33.1	

小売業	前期		-32.7	<p>業況DI(△32.7→△35.4)は悪化傾向がやや強まりました。売上額(△33.9→△32.4)と収益(△32.0→△33.2)は前期同様の減少・減益傾向が続きました。</p> <p>来期の業況(△38.9)は悪化傾向が幾分拡大しますが、売上額(△27.1)と収益(△29.5)は若干改善すると予想しています。</p>
	今期		-35.4	
	来期		-38.9	

サービス業	前期		-40.1	<p>業況DI(△40.1→△32.9)は厳しい状況は続くもののかなり持ち直しました。売上額(△38.7→△28.7)は減少傾向が大きく改善され、収益(△33.9→△31.5)も減益傾向が若干弱まりました。</p> <p>来期の業況(△21.8)は引き続き大幅な改善が続くと予想しています。売上額(△21.2)と収益(△22.7)も減少・減益傾向が大幅に改善すると予想しています。</p>
	今期		-32.9	
	来期		-21.8	

建設業	前期		-22.3	<p>業況DI(△22.3→△24.9)は悪化傾向がやや強まりました。売上額(△30.0→△30.4)は前期同様の厳しさが続きましたが、収益(△37.8→△31.7)は減益傾向が大幅に改善しました。</p> <p>来期の業況(△20.0)は悪化傾向が多少弱まり、売上額(△12.6)と収益(△17.6)も減少・減益傾向が大幅に改善すると予想しています。</p>
	今期		-24.9	
	来期		-20.0	

江戸川区の中小企業／業種別景況の推移



〔過去5年間の業況D.I.の推移〕※(D.I.=「増加回答値」-「減少回答値」)

	2016				2017				2018				2019				2020				2021			
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12 (予想)
製造業	-14.4	-11.3	-8.8	-6.3	-15.3	-13.6	-11.8	-9.7	-7.1	-12.0	-11.6	-9.6	-7.9	-6.2	-7.7	-12.3	-19.2	-40.2	-40.6	-44.0	-42.5	-44.3	-37.6	-33.1
小売業	-36.4	-38.4	-38.3	-39.6	-31.7	-33.1	-23.4	-26.3	-25.9	-24.9	-23.3	-23.2	-29.9	-30.1	-27.2	-31.7	-28.7	-37.8	-37.1	-33.2	-37.2	-32.7	-35.4	-38.9
サービス業	-24.9	-24.1	-25.1	-20.2	-18.5	-17.2	-20.3	-17.7	-15.4	-14.7	-15.1	-16.9	-10.5	-5.6	-3.2	-2.2	-11.1	-53.7	-46.8	-42.4	-55.1	-40.1	-32.9	-21.8
建設業	-0.8	-5.8	-6.2	-2.0	1.5	2.4	6.7	9.5	7.6	4.6	8.4	11.5	8.7	8.3	17.6	1.8	-6.1	-34.8	-17.4	-24.5	-39.3	-22.3	-24.9	-20.0

経営者から寄せられた声 (2021年7~9月)

【景況全般について】

- 飲食業であり、時短要請の解除に向けて会食を取り込みたいが、会社の忘年会などがなく厳しそうだ。(サービス業)
- コロナ禍で受講生減少に歯止めがかからず、かなり厳しいが、オンライン講座等に切り替える余裕もなく終息の時期がくるのを待つのみ。(サービス業)

【受注・売上・単価・仕事量について】

- 7~9月は利益が少ないながら売上は上がった。(小売業)
- 賃貸市場は特に単身者向けの物件の需要減退が体感できるレベルとなっている。(サービス業)
- 仕事柄お客様とは直接触れて施術するため、現在もこちらからの積極的なPRは控えている。(サービス業)
- 仕事はあるが、人手不足の為に苦慮している。支払単価が少し高くても応援企業を頼んでいる。利益はほとんどないが、仕事をこなすには仕方がない。赤字経営はなくなりそうにない。(建築業)

【経営上の課題について】

- 売上減少。モノからコト売りへの転換が必要。(小売業)
- 緊急事態宣言は解除になっても、主力の大規模イベント・コンファレンス関連はすでにコロナ対応でスケジュールされている為、年度内の回復は難しいと思う。人員整理をした為、回復期になって人材が確保できるかどうかかわからない。今後の動向によっては、事業継続そのものが厳しくなると思われる。(サービス業)

【経営改善等に向けての取組み】

- IT業界は比較的景気が安定してきているが、各企業の来年度の予算が縮小しないか気になっている。また、コロナ前と同じサービス、商品・製品では生き抜いていけないと感じているので、新サービスの開発やパッケージ化などを推し進めている。(サービス業)
- 建設コンサルタント業をしている。コロナ禍による影響はあまりなく、調査・設計の業務発注は比較的順調。しかし、そう遠くない時点でしわ寄せは来ると考えている。これまで、老朽化対策に係わる業務に多くの人員を充てていたが、災害関連の調査・解析にシフトする取組みを行っている。(サービス業)

江戸川区の企業倒産動向 (2021年7~9月)

江戸川区の企業倒産動向

2021年7~9月期の江戸川区の倒産件数は、前期比42.9%減の8件(前期14件)、負債総額は前期比129.5%増の13億84百万円(前期6億3百万円)でした。

業種別にみると、件数では“建設業”が3件で最も多く、次いで“製造業”と“情報通信業・運輸業”が各2件で続きました。負債総額は“建設業”が12億30百万円で最も多く、次いで“製造業”(1億24百万円)、“情報通信業・運輸業”(20百万円)と続きました。

	前年同期 2020年7~9月		前期 2021年4~6月		今期 2021年7~9月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	1	10	0	0	2	124
卸売業	1	10	1	23	0	0
小売業	1	30	1	10	0	0
サービス業	1	11	3	146	1	10
建設業	0	0	6	184	3	1,230
不動産業	1	20	0	0	0	0
情報通信業・運輸業	0	0	1	30	2	20
宿泊業、飲食サービス業	2	250	1	200	0	0
その他	1	56	1	10	0	0
合計	8	387	14	603	8	1,384

江戸川区 産業経済部 産業経済課 計画係

TEL:03-5662-9014(直通)